MJ PERFORMANCE INFORMATION

MJ寄席　春風亭一之輔 独演会 第2回

2022 年 4 月 17 日（日）　開演 15：00
中ホール「あさぎり」
全席指定 3,500 円
※未就学児入場不可。

2001 年春風亭一朝に入門。04 年二ツ目昇進、「一之輔」と改名。12 年 21 人抜きで真打昇進。

人気、実力ともに若手真打ナンバーワン！

－ ＊ － ＊ － ＊ － ＊ － ＊ － ＊ － ＊ － ＊

新・BS 日本のうた　公開収録

2022 年 6 月 9 日（木）　開演 18：00
大ホール「きりしま」
全席指定 入場無料（要事前申込・整理券）

素晴らしい名曲の数々を豪華な出演者がたっぷりとお届けします。
詳細は NHK 宮崎のホームページをご覧ください。
出演：前川清、八代亜紀 ほか

NHK 宮崎ホームページ▶

－ ＊ － ＊ － ＊ － ＊ － ＊ － ＊ － ＊ － ＊

60 分ワンコインで気軽に楽しめるシリーズ！

MJ ちょこっとライブ

中ホール「あさぎり」
自由席 500 円　※各公演それぞれチケットを販売します。

【BLACK BOTTOM BRASS BAND】
2022 年 6 月 18 日（土）　開演 13：30

６人組のブラスバンドによるジャズ公演。
オリジナル曲やジャズの定番曲を、ニューオリンズスタイルで楽しんで。

【クインテット・アッシュ】
2022 年 6 月 28 日（火）　開演 19：00

木管五重奏によるクラシックコンサート。
木管の響きを五感いっぱいに感じて。

SPECIAL

足湯気分で、気軽に。この春、落語デビューしませんか。

今年の MJ 寄席は、2021 年に続いて２回目の都城公演となる春風亭一之輔。「古典」という言葉が連想させる固定概念を粉々に打ち砕くパワフルな現代落語の旗手。

師匠は、お客様の雰囲気、反応を見て演目を決めるため、どんな噺（はなし）が聞けるのかは、当日のお楽しみです。

同じ演目でもどこかしら前回と表現を変えていますし、時には、アドリブで出たセリフに師匠自身が笑ってしまうことも。その日のノリでどんどん暴走していきますが、どんなに暴走しても着地点をきちんと用意し、決して落語を壊しません！

それから、小学生と中学生の父親でもある一之輔師匠の落語会は、若いお客様が多いのも特徴。お子さんネタもふんだんに盛り込まれています（笑）。

さあ、今回も一之輔の粋な落語をたっぷりとお楽しみください。

MESSAGE

去年３月に続いて、２回目の都城独演会です。コロナ禍がずいぶんと続くなか、大きな声で笑うことが以前より減ってしまったような気がします。

まだまだマスクの着用、検温などご不便をおかけしますが、どうぞ普段の憂さを忘れて腹の底から笑って頂ければ嬉しいです。

芸人や吉原の世界では一度目を「初会」、二度目を「裏を返す」、三度目を「馴染みになる」と言います。どうぞ、皆さんと「馴染み」になれますように。

ご来場、心よりお待ちしております。

春風亭一之輔

担当者イチオシの一席はコレ！

師匠は、20 年 4 月、コロナ禍で休止となった寄席のトリの時間に合わせ、10 日間連続、落語を無料で配信。連日 1 万人を超えるリアルタイム視聴者を記録しました。現在もアーカイブ配信をご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

担当Ｋがおススメするのは、師匠の酔っ払い役がハマっている『猫の災難』です！

春風亭一之輔 Youtube チャンネルへ Go !!　『猫の災難』▶

担当者の独断と偏見で おススメする 落語の楽しみ方

地方では、なかなか生の落語を聞く機会がありませんが、そもそもは庶民の娯楽。「足湯につかる気分で、気楽に」前回、一之輔師匠が仰っていました。

ということで、落語を気楽に楽しむ方法を、担当者独自の視点でお伝えします！

その１　聴き比べてみる

落語は、マクラ（枕）で始まり、オチ（落ち）で終わる、日本の伝統話芸のひとつ。噺家の技術と観客の想像力で成り立つシンプルな芸能です。

◆ 江戸落語と上方落語

落語には、江戸（東京）と上方（大阪・京都）という２つの流れがあり、小道具や演目の違いがあります。上方落語では、見台（けんだい）・小拍子（こびょうし）・膝隠（ひざかくし）などの小道具を用いるのが特徴です。そういう視点で聴き比べてみると、新たな発見があって面白いかも！

◎主な江戸落語家
春風亭小朝、立川志の輔、三遊亭円楽　など

◎主な上方落語家
桂文枝、桂ざこば、笑福亭鶴瓶　など

◆ 古典と新作

数百年にわたり語り継がれてきたものを古典落語、大正時代以降に作られたものを新作落語といいます。

古典落語は、基本の物語に落語家がそれぞれの味を加えますので、別の落語家の同じ演目を聴き比べ、その違いを楽しむのも面白いです。

語り口調や仕草で笑いどころは様々ですし、落語家によって、思い浮かぶ風景が違ってくるのが興味深いですね。

◎代表的な古典落語
「皿屋敷」「芝浜」「紙入れ」「寿限無」「時そば」など

いきなり古典落語はとっつきにくい…という方は、新作落語から聞いてみましょう。新作落語は、近現代を舞台にしたものですから、「分かる！」「あるある！」と共感でき、もっと落語を聞きたくなりますよ。

◎新作落語が得意な落語家
柳家喬太郎、三遊亭白鳥、林家彦いち、春風亭昇太　など

その２　好みの落語家を見つける

語り口調がゆっくり・早い、仕草が面白い、落語家それぞれに魅力があります。担当Ｋは、優しい語り口調の、仕草が面白い落語家が好みです。みなさんも好みの落語家を見つけてみましょう！

ちなみに、落語家は、前座、二ツ目、真打と 3 つの階級があります（江戸落語のみ）。一門を興す、すなわち弟子が取れる資格を有するのが真打で、「師匠」という敬称を用います。

◎MJ で公演した落語家
桂文枝、春風亭昇太、林家たい平、柳家花緑　など

SPECIAL

ホールのおしごと。

もっと多くの方に MJ を知ってほしい！そんな想いから、どんな人がどんな仕事をしているのか、深堀りしていく連載企画。第 4 弾は、設備監視員のお仕事をご紹介します。

設備監視員のおしごと
館内の設備が安全に運用できているか監視する仕事。
また、ホール周辺を巡回し、危険や異常が無いか確認も行う。

「多機能文化施設」と言われる MJ は、大中ホールや会議室、練習室など様々な形態の施設を有し、空調や照明などの設備も複雑です。ＭＪでは 7 名の職員が、地上３階、地下２階の巨大な建物が安全に運用できるよう、365 日 24 時間体制で監視を行っています。

業務内容は、電力使用量や空調設備の監視、機器の点検・修繕作業に至るまで多岐にわたります。

まさに縁の下の力持ち。ホール運営は、表には見えない、たくさんの人々に支えられています。

◀防災監視室
電気や空調、防災設備などを操作する場所で、監視員が 24 時間交代で常駐しています。
また、館内に設置された監視カメラモニターもあり、周囲に異常が無いかチェックしています。

点検作業▶
建物地下 2 階には、空調機械室や電気室、熱源機械室などがあり、様々な機器が集約されています。
これらの機器が毎日問題なく運用されているか、チェックシートに添って確認作業を行います。
毎日行うことで、小さな変化にも気づくことができます。
安心安全な運転のための、最も重要な業務です。

◀修繕作業の様子
台風などにより外壁が剥がれたり、雨漏りが発生することも。
甚大な被害の場合は専門業者に依頼しますが、軽微なものは監視員が修繕作業を行います。